

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所Uo-Sao'				公表日	2026年 3月 30日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	発達支援室等のスペースを考慮し、利用定員が適切となるよう配慮している。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	専門職の配置もされており、危機管理にも配慮されている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	1	こどもに分かりやすい構造化された生活空間とし、障害特性に応じた環境配慮を行っている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	生活空間は清潔で、こども達の活動に適した空間となっている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	こどもの状況に応じて、個別の部屋や場所を使用できる環境としている。		
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	業務改善に向けたPDCAサイクル(目標設定・振り返り)に、職員が参画している。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	保護者との関係性を築き、相談する機会や、質疑応答に応じる体制がある。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	職員の連携もとれていて、業務が適切に行えている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	3	外部評価の結果を踏まえ、改善を行う必要がある。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	職員の資質向上に向けた研修機会を確保している。		
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	専門職と支援員により、月代りで、作成されている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	適切なアセスメントに基づき、児童発達支援計画を作成している。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	関係職員が共通理解のもと、児童発達支援計画を作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	支援計画を共有し、計画に基づいた支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	アセスメントを通して、こどもの適応行動を確認している。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	ガイドラインに基づき、必要な支援項目と具体的な支援内容を設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	季節ごとや、月代りでの目標設定がある。		

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	子供の発達段階に応じてブラッシュアップしている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	音楽療法等は集団、学習は個別に支援を行なっている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	支援前に打合せを行い、役割分担を確認して連携した支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	支援後に振り返りを行い、職員間で情報共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	支援記録を行い、検証・改善に活かしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	モニタリングに基づき、支援計画の見直しを行っている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	1	こどもの状況を理解した職員が、関係機関との会議に参画している。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	保健医療、障害福祉、教育機関と連携し、地域に根ざして、連携している。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	教育機関とは訪問支援などでコンスタントに連絡を取り合っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	1	就学時の移行の際には、情報提供、共有を行なっている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	1	必要に応じて、支援を行なっている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	0	必要事項について、利用者に丁寧に説明している。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	こども及び保護者の意向を確認し、支援計画に反映している。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0	支援計画について説明し、保護者の同意を得ている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	家族からの相談に適切に対応している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	3	年度末に子どもの発表の機会を設け、保護者も参加し交流の機会を設けている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0	迅速に対応している。	

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	2	ホームページや連絡アプリを活用している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	0	現行の通り、十分、留意している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	1	個人の特性に配慮し、個別に行なっている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	2	今年度から実習生の受け入れなど、地域との関わりも活発化している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	2	マニュアル整備および訓練の実施が今後の課題である。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	2	安全面に配慮して行なっている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	こどもの健康・服薬等の状況を事前に確認している。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	事前に保護者への確認も行い、徹底している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	安全管理体制を整え、支援を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	全計画の内容を家族等に周知し、連携を図っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	ヒヤリハットを共有し、再発防止に取り組んでいる。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	職員研修等を通じて、虐待防止に取り組んでいる。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	危機管理をし、安全に執り行います。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	適切に検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	職員の連携を行い、情報共有し、改善策を話し合う機会を設けている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	身体拘束の条件を決定し、事前説明と同意を得た上で計画に記載している。	